
マルカは影がない

一二三四

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マルカは影がない

【Nコード】

N3358J

【作者名】

一二三四

【あらすじ】

触ることができても存在を確かめることは難しい。

(前書き)

目標…二千字以内でファンタジーを書く。

マルカって何人なの？ って聞いたらベルギーとオーストラリアとベトナムとインドとギリシャと火星が混じった日本国籍保持者だと云われた。きっと今度会ったときに同じ質問をしたらスイスとアイスランドとメキシコと中国とバチカンと水星が混じったケニヤ人とでも云うんだろう。日本語で喋ってたけど。しかも次に会うことはないし。だけど彼女って云おうと思ったけど大穴で男性器と女性器を併せ持っている可能性も捨てきれないのであいつは、フィンランド人なんじゃないかって思う。辞書で調べただけでマルカって言葉はフィンランドのお金の単位なんだってさ。でもすっごく弥生顔だったから日本人かも。国籍的な意味でもなくて。

こんな風にあいつの印象はどこか一つに定まることを知らない。全部が混ざっていて、混ざりすぎてから輪郭がなくて、でも人間としてちゃんとそこにいるから対面する人を無性に不安にするんだと思う。実際に触れているからってそこにいるとは限らない。近いけど遠いって陳腐なフレーズがこの上なく似合ってるし、今の世の中をよく表している。陳腐で、ありふれてる。マルカ的と辞書に載せて欲しいぐらいだ。きつとみんなはずっと前からその言葉が辞書に載っていたかのように、字面の表面を撫でるだけの使い方をするだろう。それこそマルカ的に、だ。

雨が降ってきたね。君の行き先はどこだったっけ。こっちは終点まで乗るつもりだから、通り雨だといんだけど。折りたたみ傘って使いにくいよね。やっぱり予備は予備だけの役割しかできないんだ。

こんな話、聞いてて楽しい？ いや、君が聞きたいからっていうんで話してるんだけど、こんな話より体育教師が乗ってたレクサスを田んぼに落とした話の方がよっぽど面白いんじゃないかって思ってたね。どっちも同じぐらい古い話だけどインパクトとしてはレクサ

スの方がよっぽどいいと思うんだ。でもなんでだろうね、レクサスの話の方が面白いって分かってるのにマルカの話をしてしまうなんて。抽象的な話は大概退屈になるのにね。

君を見ているとマルカを思い出すってわけじゃないけどあの時代を象徴していたのは透明な存在としての殺人鬼とかそういうメディアが作り出した偶像じゃなくてマルカだったんだって思うよ。ほんとに。

ああなんで思い出すんだろう。君がいて電車に乗ってて人が少なくておまけに雨が降ってきているからかな。なんだって掴みどころのない話を延々と要領も得ずに話すんだろうね。

そうそう、この辺りにダム of せいで無くなった村があること知ってた？ 別に詳しくは知らないんだけど、そういう水底に沈む家ってなんだか異世界感があつていいよね。大雨が降って濁流に飲み込まれたんじゃないかって、人為的にゆっくりと。夏になってダムの水が少なくなると屋根が浮き上がるんだ。減ってるのは水で家が浮かぶわけでもないのに、ダムの中にあるだけで安定感を欠く。日常と地続きの非日常。これもマルカがいつていたことだけだね。センス・オブ・ワンダーに似てるとかなんとか。

ああ遮断機が通り過ぎて行く。雨音を縫っているのか雨音が縫っているのかどっちなんだろうね。高校のときドップラー効果ってやったけど覚えてないや。これは関係なかったんだっけ。

今さっき異世界感っていったけど雨の日はたいてい異世界だよ。夜の帳なんかよりも雨のカーテンの方がさ。ぼんやりした物ってよく見えないけど、雨の向こうに見える物は全部はっきりしないから逆にはっきりしない物がはっきり見えるんだ。実は窓の向こうに見える景色は全部書割の偽物で、実存としてあるのはこの電車と電車のレールだけ。そう思うと境目が溶けるような気がする。

ああもうすぐ終点だ。そうか君も終点まで乗るんだった。この電車の慣性だけが本物なんだ。実存だ。

ああ降りる前に一つ聞いておきたかった。君はどこ出身？ 垢抜

けてるしこの辺じゃちよつと見ない感じだから聞きたかっただけ。

……そう、ここより都会だね。ってこれは失礼か。多弁でごめんね。ちなみに僕はスウェーデンと――

（後書き）

感想などありましたらよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3358j/>

マルカは影がない

2010年10月9日23時16分発行